

令和7年度 第3回 大阪府立東住吉支援学校 学校運営協議会 実施報告書

大阪府立東住吉支援学校

校長 西浦 由夏

| | |
|------|---|
| 日時 | 令和8年2月24日(火) 午前10時～午前11時 |
| 場所 | 大阪府立東住吉支援学校 調理室 |
| 委員 | 家門 鉄治、冬木 真規子、羽室 剛、大川 明宏、賤賀 佳代子、丸山 直子 |
| 学校 | 西浦由夏(校長) 橋本真希(准校長) 澤 功(事務長) 植野耕司(教頭) 榮仁寛(教頭) 蔵本真澄(首席) 池田浩明(首席) 中尾葉子(首席) |
| 議題 | 1. 学校教育自己診断 分析と今後の課題 2. 令和7年度 学校評価(案) 3. 令和8年度 学校経営計画(案) |
| 協議要旨 | <p>1. 学校教育自己診断 分析と今後の課題について【報告】</p> <p>○A 部門(肢体不自由教育部門)、B 部門(知的障がい教育部門)の結果と分析、学校全体としての課題を報告し、委員様よりご意見をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒向けのアンケート項目について、学部ごとに子どもが分かりやすい内容に変更してもよいと思う。 ・今年度から児童生徒を対象としたアンケートを実施している。今後、経年比較をして、回答結果の肯定的評価値が高い項目を学校の「強み」として捉え、学校運営に活かしてほしい。 <p>2. 令和7年度 学校評価(案)【協議】</p> <p>○委員様より、「コーディネーターの役割」や「授業力向上・専門性向上」「個別の教育支援計画の活用」についてご意見いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの役割として、校内支援に加え、進路先への接続を担うなど、今後の更なる活躍に期待する。 ・授業(指導略案)のデータベース化は非常に有効である。更なる蓄積と活用に期待する。 ・小学部児童の保護者の視点から、進路(高等部卒業後)への不安はある。個別の教育支援計画の更なる活用に期待する。 <p>○校長及び准校長の学校評価は承認された。</p> <p>3. 令和8年度 学校経営計画(案)【協議】</p> <p>○校長及び准校長の「めざす学校像」「中期的目標」は承認を得た。</p> |
| 協議資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・第2回 実施報告書 ・学校教育自己診断【保護者用】【教職員用】【児童生徒用】アンケート結果 ・学校教育自己診断 分析と今後の課題 ・令和7年度 学校評価(案) ・令和8年度 学校経営計画(案) |
| 備考 | 傍聴者【4】名 |